



借家で暮らす

山本純子さん74歳。
吹田市内で賃貸の公団住宅1DKに約35年間住んでいる。
およそ40年間商社に勤めていた。30代ごろに住宅を購入しようと思ったが、女性だという理由で銀行の融資を受けられず、公団に住み続けるしかなかった。「今、考えているのは地域の友だちと助けあうグループをつくること」



借家で暮らす

高木満里子さん76歳。
夫の暴力により家を出て友人所有のビル1室1DKに入り、そのまま10数年暮らしている。「人様に迷惑をかけないようにするにはホームがいい。ホームに入るにはお金がいるということで、手に合うお金のところを探しました」高木さんが決めたのは「ゆいま〜る伊川谷・適合高齢者専用賃貸住宅」でした。



特別養護老人ホームで暮らす

大阪府吹田市のちくりんの里は、個別のケアを実施するために全室個室、ユニット形式のケアを導入している。ユニット形式とは、施設内をいくつかのグループに分けて、同じ職員5〜6人と入居者8〜10人で1つのユニットをつくり家族のような関係を築くこと。
吉見みち子さん85歳
「ここは気丈夫です。何があっても職員さんがいらっしゃるし、友達もいますしね」

～あなたは老後をどのように暮らしますか～

おひとりさまを生きる

— 主な出演の方々 —



有料老人ホームで暮らす

向田貞子さん74歳。
長年、編集の仕事に携わってきた。伊豆の〈ともだち村〉に行き、「血縁でも、地縁でもない新しい縁を結ぶ暮らし方っていうのを見て、これを都会に作れないかと思ったわけですよ」「こういうところに入ろうと思った理由の一つにね、自分たちもだんだん年をとってくると、いくら近くといっても電車で乗っての集まりとかがだんだんし難くなってくだろうと…」



グループリビングで暮らす

神奈川県藤沢市にあるグループリビングCOCO湘南台は開設されて10年たった。現在、67歳から98歳まで10人の方が入居。外部からの食事作りサポート、家事サポートボランティアサポートなど生活支援を受けて心地よく暮らしている。他にライフサポーターによる日常生活の手助けがあり、10人のうち1人がコーディネーターとなり、外部との連絡や内部の取りまとめなどを行っている。



持家で暮らす

辻村愛子さん93歳。
京都府の自分の家に住んで70年。子ども家族が離れてひとり暮らしになったのは8年前から。「自由気ままに過ごせるということは何よりいいことです。朝はちょっと寝坊しても、恥ずかしく思うだけで、別に誰も文句言いませんし。困ることはやっぱり不自由です。買い物にも自分が行かないと何も整いませんしね」



持家で暮らす

阿部操さん85歳。
岡山県津山市で40年間教師をしていた。66歳で母を看取って以来ひとり暮らしをしている。子どもはなく、月に一度掃除や洗濯、銀行の引き落としなど、姪が大阪から来て手助けをしている。認知症が少しずつ進んでいるが、阿部さん自身はヘルパーの助けがなくても生活ができると考えている。

販売・問い合わせ **ビデオ工房AKAME** ※ webからも注文できます

TEL&FAX 06-4805-0234 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-7-2 チサンマンション新大阪707
e-mail akamev@osk4.3web.ne.jp URL <http://www2.osk.3web.ne.jp/~akamev/>